

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目			放射性物質分析項目		
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	○	○	○	○	○	○
L-2	○	○	○	○	○	○
L-3	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
L-1	37.820983°	140.960950°	H26. 7. 16	—	10:31	—	21.8	シルト	10Y4/1	なし	—	—		
L-2	37.815517°	140.976333°		9:02	9:52	22.3	22.8	シルト混細砂	7.5Y4/1	なし	1.67	1.67 (着底)		
L-3	37.821683°	140.976500°		9:22	10:12	21.1	22.0	細砂	10Y5/1	アサリ貝	1.47	1.47 (着底)		

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.815517°	140.976333°	H26. 7. 16	9:02	8.1	0.5	2.8	7.3	4,050	27.94	1.6	6	1.3	0.012	0.029	0.0012
L-3	37.821683°	140.976500°		9:22	8.1	0.6	2.2	7.6	4,550	29.16	1.3	5	0.8	0.0073	0.021	—

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
L-1	37.820983°	140.960950°	H26. 7. 16	10:31	7.7	53	42.1	4.7	9.8	2.666	0.0	0.2	5.5	42.6	20.1	31.6	0.061	2	140	420	—
L-2	37.815517°	140.976333°		9:52	8.0	40	30.2	2.0	2.8	2.705	0.0	0.2	31.5	53.8	3.9	10.6	0.20	2	130	350	N. D. (0.17)
L-3	37.821683°	140.976500°		10:12	8.2	47	22.1	1.0	0.8	2.744	0.4	0.4	54.4	41.0	0.6	3.2	0.27	9.5	6.9	20	—

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	種名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	成長段階	特記事項			Cs-134 (Bq/kg-wet)	Cs-137 (Bq/kg-wet)	Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度											胃内容物	測定部位				
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.820983° 37.815517° 37.821683°	140.960950° 140.976333° 140.976500°	H26. 7. 16	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	相当数	0.024	—	—	—	68	220	—
					被子植物	単子葉植物	イナヱ	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	相当数	2.1	—	—	—	0.45	1.2	—	
					緑藻植物	ワサ藻	ワサ	アサアサ	<i>Ulva pertusa</i>	アサアサ	相当数	3.3	—	—	—	1.3	3.7	—	
					節足動物	軟甲	アミ	アミ	Mysidae	アミ科	相当数	0.13	成体	—	—	—	1.2	3.2	—
					節足動物	軟甲	十脚	テナガエビ	Palaemonidae	テナガエビ科	55	0.029	成体	—	—	—	N. D. (1.3)	N. D. (1.2)	—
					節足動物	軟甲	十脚	エリシ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	3	0.15	成体	—	—	—	4.2	11	—
					節足動物	軟甲	十脚	ヘミグサ	<i>Hemigrapsus</i> sp.	イソガニ属	290	0.35	成体	—	—	—	2.7	7.1	—
					環形動物	多毛	—	—	Polychaeta	多毛綱	289	0.071	成体	—	—	—	8.8	29	—
					軟体動物	二枚貝	マガキ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	12	0.45	成体	—	軟体部	N. D. (0.34)	0.85	—	
					軟体動物	二枚貝	アサリ	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	59	0.39	成体 (2.3, 4歳)	—	軟体部	0.83	2.1	—	
					脊椎動物	硬骨魚	マハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	4	0.059	成魚	—	—	—	1.3	3.4	—
					脊椎動物	硬骨魚	タケギンボ	タケギンボ	<i>Pholis crassispina</i>	タケギンボ	15	0.030	成魚	—	—	—	N. D. (1.6)	2.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	ボラ	ボラ	<i>Mugil cephalus</i>	ボラ	42	0.16	未成魚 (0歳)	—	—	—	19	54	—

- ※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた種を、和名に下線で示した。
- ※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5：成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢査定の結果を示す。
- ※6：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※7：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落とすものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※8：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※9：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。